

## 体育・運動施設の利用にあたってのチェックリスト

2020/5/29

### ◆ 利用者が守るべき項目

- 次の3つの項目で1つでも該当する場合は、利用を見合わせる
  - 体調がよくない場合(例:発熱やせき、のどの痛みなどの症状がある場合)
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過期間を必要とされている国、地域等への渡航または、当該在住者との濃厚接触がある場合
  
- 自宅で検温をしたうえで利用すること
  
- マスクを持参すること(受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)  
※運動・スポーツ中のマスク着用は、利用者の判断によるものとする。
  
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
  
- 他の利用者、施設職員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること
  
- 身体の接触を減らすため接触する恐れのないプレーや練習メニューを中心に行うこと
  
- 屋内施設では、利用中は窓や扉を開放し、常に換気を行うこと(密閉空間での使用は禁止)
  
- 利用中に大きな声での会話、応援等をしないこと
  
- 屋内施設利用後、通常清掃に加え、町体で用意した用具で消毒清掃を行うこと  
※入口や使用したトイレのドアノブ、照明スイッチなど手を触れた場所・ものを除菌してください。
  
- 屋外施設利用後、グラウンド整備でレーキ・ブラシ等を使用する際は、できるだけ素手ではなく、手袋・軍手などをして整備すること
  
- 感染防止のために施設管理者が決めたその他の措置の遵守、施設管理者の指示に従うこと
  
- 利用終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、町民体育館へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
  
- 施設利用前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

(裏面もご覧ください)

(裏面)

◆ 運動・スポーツを行う際の留意点

□ 十分な距離の確保

□ 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(※)を空けること

□ 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること  
(※)感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが望ましい。

□ 位置取り: 走る・歩く運動・スポーツにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること

□ 運動・スポーツ中に、唾(つば)や痰(たん)をはくことは極力行わないこと

□ タオルの共用はしないこと。共用する道具は、こまめに消毒すること

※ 団体・チームが所有する用具を消毒する際は、自前の消毒液をご用意ください。

□ 休憩やミーティング等の際には、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は最小限にすること

※ 現段階での内容となっています。今後、状況により内容の見直し等がある場合があります。